

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 038	提案機関名	農業技術センター普及指導部
要望問題名 水稲の除草剤抵抗性雑草の発生の確認と、県内雑草種の分布の把握		
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 環境保全型農業の推進のため、農薬削減が求められている。水稲栽培においては雑草防除は必須であるが、除草剤の成分数は多い。そのため、雑草の発生に適切に対応した剤の選択が必要である。発生雑草種の同定や対応剤について、講習や情報提供に努めているが、雑草の種類や量の把握、使用除草剤の判断は生産者の感覚に委ねられる場合が多い。また、同一成分の連用は、スルホニルウレア(以下SU)系抵抗性雑草のように薬剤抵抗性雑草の発生の原因となる。 水田雑草の発生について種類及び量を正確に把握することは、適切な剤の選択に必要な情報である。そこで、神奈川県内の水田雑草を調査し、発生分布の把握をお願いしたい。 また、近年水田に使用される除草剤へのSU抵抗性雑草が複数種で発生し、難防除化して全国的に問題となっている。県内水田においてもSU抵抗性雑草が疑われる事例が見られる。SU抵抗性雑草への対策は、中後期剤の使用や新たに開発されたSU系以外の有効成分を含む除草剤の使用等だが、生産コストや除草剤成分数が増加する場合がある。また新成分においても連用は、将来新たな抵抗性雑草出現が懸念される。抵抗性の判別方法は確立されている一方、神奈川県における発生の詳細は不明である。 そのため、県内のSU抵抗性雑草の確認と、発生した場合には分布や拡大の情報を把握し、対策に活用することが、普及指導業務において有効と考えられる。そこで、県内水田におけるSU抵抗性雑草の確認および発生状況の調査を要望する。 対象地域：県下水稲栽培地 面積：3200ha		
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ①自然環境保全センター	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	野菜作物研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) スルホニルウレア(SU)系除草剤抵抗性雑草の発生実態調査		
対応の内容等	スルホニルウレア(SU)抵抗性雑草についてはコナギやホタルイ等の水田雑草で全国的に発生し、対策が進められていますが、本県での発生状況は不明です。SU抵抗性雑草の発生状況を把握することは除草剤の適切な使用を進めるためにも重要であると考えられます。SU抵抗性雑草の検定はポット試験等を行うことで可能となっておりますので県内各地域における残草に関する情報提供とサンプリングへのご協力をお願いします。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			